

埼玉県議会議員

わたなべ

# 渡辺 せいいちろう

県政報告 Vol.10



## 救急搬送のスピード向上を!



**渡辺の一般質問** 県内の救急搬送数が増加しており、救急患者のたらい回しも増えている。救急隊員が電話で病院を探して立ち往生する事例も見られる。**受け入れ可能な病院が瞬時にわかる**一斉照会システムの拡充を図るべき。現在は大動脈解離のみにこのシステムが使われているが、**それ以外の救急でも活用できるように**システム改善を。

**県の答弁** 一斉照会システムの拡充は救急搬送の時間短縮につながると考えるが、システム改良には病院との調整が課題となる。救急や病院等の現場の意見を確認しながら、**システム改善に向けて検討**を行う。



### これまでの一般質問で実現したこと

◆2年前の渡辺の一般質問: 県が責任を持って小児医療機関を支援し、小児救急の受け入れ拡大を図るべき。

◆今年度から: 県で小児救急の受け入れ拠点病院を指定し、支援金を出す取り組みが始まりました。



受入れ先が少ない小児救急



県が支援!

**ひとつこと** 今回の質問にあたっては救急隊員の方々からも意見を頂きました。他県では救急車がリアルタイムで受け入れ病院を判断できるシステムを導入している所もあります。医師確保や病床増加など根本的な対策と並行して、システム面でも救急医療の改善を図っていきます。



## 宮代町の水害をゼロにする!

### 姫宮落川の整備予算を大幅に増加! 橋の架け替えも進めています!

宮代町の大雨・豪雨災害を防ぐには姫宮落川等の河川整備が必要です。下流から整備を進めており、今年は例年よりも多くの予算で整備を進めています。古い橋を架け替える工事も鋭意進め、災害が起きても安全なまちづくりを進めます。



### 流域治水プロジェクトも進めています!

他県や複数市町村と連携し、河川流域全体を見ながら総合的な治水対策を行っています。具体的には排水機場の増強、調整池の整備、河川や水路の計画的な浚渫を市町村の枠を超えて流域全体で実施しています。



## 下水道管の老朽化対策を急ぐべき!



**渡辺の一般質問** 八潮市で道路陥没があったが、災害時にも備え下水道管等の老朽化対策が喫緊の課題だ。敷設50年以上が経過する老朽管も増えており、危機はいつ起こるかわからない。しかし老朽化に対する十分な予算が確保できていない。特に国からの交付金が毎年減少しており、これでは適切なインフラ管理ができない。国に必要な額を強く要請すべき!



**知事の答弁** 近年は国からの補助金の内示率が下がり続けており、更新費用に苦心している。下水道事業において国の役割は大きい。国に対して今後の更新費用を強く求めていく。

# 公共交通の充実に取り組む!



県と白岡市で費用を出し合っ**て新たな公共交通サービス**の実証実験を行っています。公共交通の空白地域である菫莪地区にて、住民の方を「**ジャンボタクシー**」で**スーパーまで送迎**する取り組み。利便性はどうか、利用率はどうかなどデータを取りながら事業継続の必要性を検討していきます。



菫莪地域で集会を開いた際に、買い物等に不便を感じている皆様から意見を頂いてきました。ジャンボタクシーはそうした交通不便地域の方々の移動手段の選択肢を増やす取り組みです。



## 自動運転の導入を県が支援すべき!

**渡辺の一般質問** 運転手不足が深刻化する中で自動運転の普及が期待される。先進自治体ではレベル4(人が乗車せず運行)の導入も出てきた。しかし**多くの市町村では財源やノウハウが不足し導入まで進まない**。中小市町村でも先進的な公共交通を導入しやすくする仕組みが県主導で必要だ。県が共通プラットフォーム整備や研究開発、実証実験を積極的に行い、**県が自動運転普及のハブになるべきではないか**。

**知事の答弁** 自動運転技術を活用したモビリティサービスは地域の足の確保に資するものと認識している。まずは県で**自動運転に特化した研究会を設立**し、県が主体的に普及に向けた取り組みを始める。



## スクラップヤード規制条例がスタート!

埼玉県で**スクラップヤード規制条例が始まりました**。(渡辺は副事務局長として条例を起案)金属などを積み重ねるスクラップヤードが生活に悪影響を与えるケースが増えている事から条例制定しました。**不適切なものは規制対象として罰則もあります**。地域では鉄などの金属が盗まれる犯罪も増加していますので、総合的な対策強化を目指していきます。



## 持続可能な農業環境をつくる試み



農地を纏める



高温への対応

最近は葡萄や梨などの鳥獣被害についてご相談頂いています。地域の被害状況の調査を進め対策を検討しています。また、昨年の一般質問で取り上げた**水稲の高温被害については**、種苗や肥料の費用補助が行われました。(種苗や肥料の費用補助)。宮代町では、**宮東・中島地区の小さな田んぼをまとめて**、耕作しやすい大規模圃場へと変換する事業を進めています。予算確保も県に強く要望しました。

## 外国資本による土地取得の制限を求める意見書

外国人や外国系法人による日本の不動産取得が進んでいます。防衛施設周辺等でも土地取得が進んでおり大きな問題です。そこで県議会から国に対して次の意見書を提出しました。**「WTO協定について協議を進め、外国資本による不動産の取得を制限する法整備を求める。また具体的に事前審査制度の導入や、監視体制の整備に早急に取り組むことを強く求める。」**

## 活動日記



夏は各地のお祭りに参加



県内大会で挨拶



委員会で議論



ミニ集会を開催



駅頭活動にて

## 渡辺そういちろう プロフィール

1984年生まれ。明治大学大学院公共政策研究科卒。IT企業勤務、衆議院議員秘書を経て、白岡市議会議員に当選。総務委員長や議会運営委員長などを歴任。2023年から宮代町・白岡市選出の埼玉県議会議員として活動。産業労働企業委員会にて副委員長を務める。八潮市道路陥没調査特別委員会にも所属。趣味は歴史小説や歴史マンガ読書。

発行日: 2025年12月3日

発行元: 埼玉県議会自由民主党県議団 渡辺そういちろう県政事務所

連絡先: 〒349-0212 埼玉県白岡市新白岡4丁目8-4 シオン102 TEL 0480-53-3623

MAIL soichirowt21@gmail.com WEB <https://www.so-wat.net/>



X



Webサイト



Youtube



Instagram